

# 消防くん 点検・工事見積

---

工事用マスター導入方法

# 工事用マスター導入方法

工事用マスターの導入（復元）方法を記載しています。

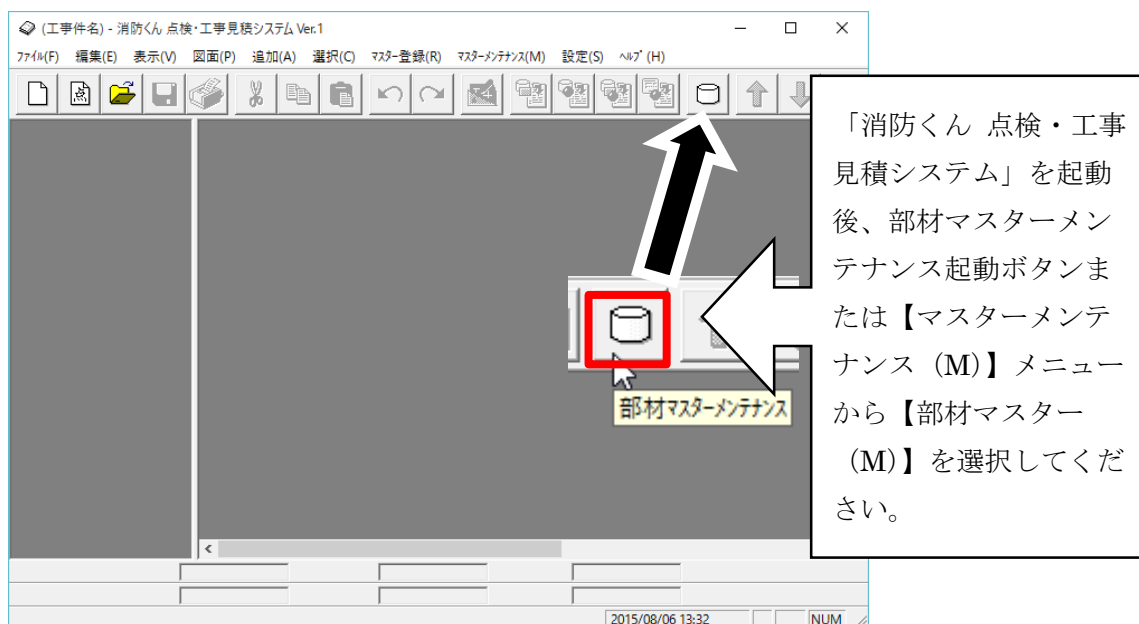
積算実務マニュアルの工事用マスターデータを、以下の手順で追加いただくことにより「消防くん 点検・工事見積システム」でご利用いただくことができます。

※工事用マスターの導入を行う前に、（現在使用中の）マスターの退避を行ってください。

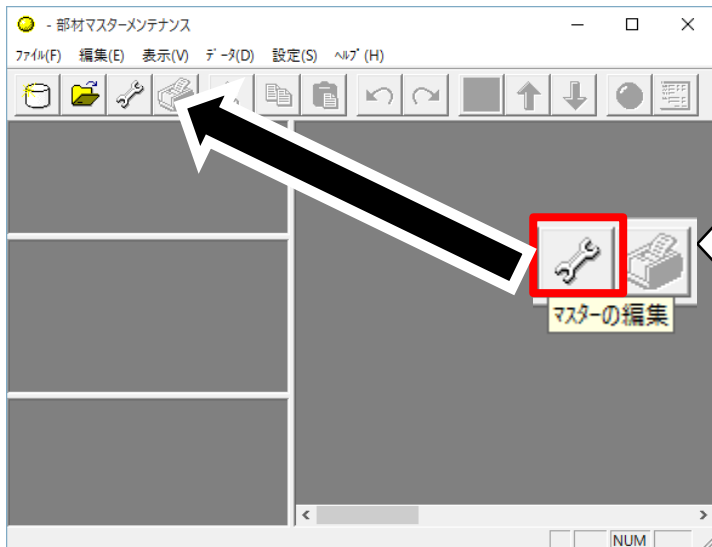
## 工事用マスターの導入（復元）手順

工事用マスターデータの導入(復元)は、部材マスターメンテナンスから行います。

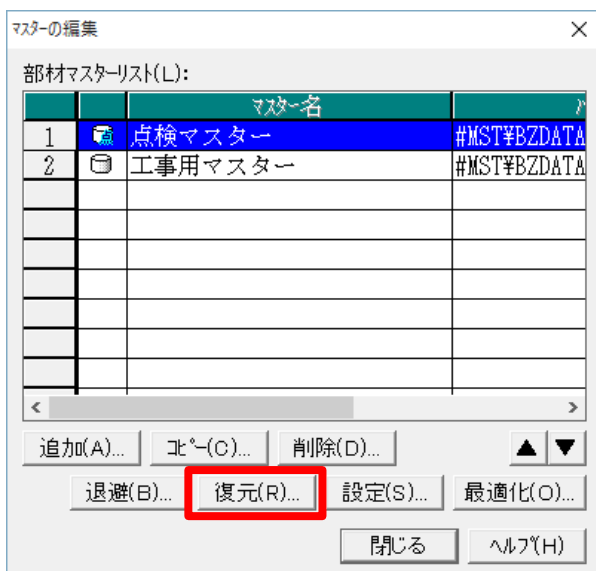
1. 部材マスターメンテナンスを起動します。



2. マスターの編集を起動し、復元処理を行います。

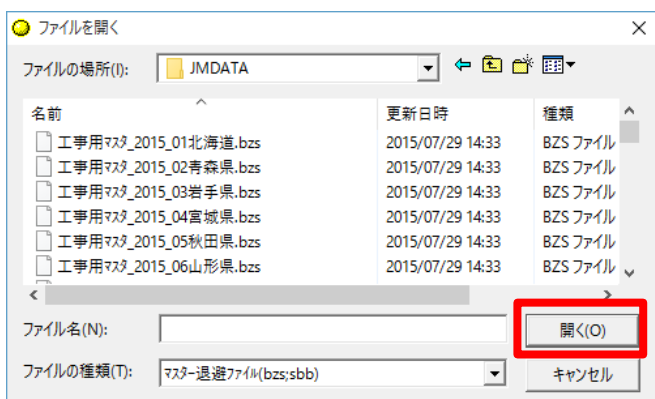


部品マスターメンテナンス起動後、マスターの編集ボタンまたは[ファイル(F)]メニューから[マスターの編集(E)]を選択してください。



マスターの編集ダイアログが開いたら、「復元」ボタンを押してください

インストールフォルダは、通常「C:\¥CBO¥SBM1¥JMCDATA」です。



ファイルの選択ダイアログが表示されますので、CDまたはインストールフォルダ内の【JMCDATA】フォルダから、ご利用になる地域のマスターを選択し、「開く」ボタンを押してください。

※CD とは、弊社より提供の工事用マスター提供用の CD の事です。

追加

マスター名(N):

分類:  点検見積用マスター(T)  工事見積用マスター(K)

マスターファイル:

C:\CBO\SBM1\MST\BZDATA\sb\_k\_20xx\_13\_東京.MDB

次のダイアログが表示されますので、マスター名や保存先を確認・変更後「OK」ボタンを押してください。

3. 復元されたことを確認します。

マスターの編集

部材マスターリスト(L):

		マスター名	
1	<input type="checkbox"/>	点検マスター	#MST\BZDAT
2	<input type="checkbox"/>	工事用マスター	#MST\BZDAT
3	<input checked="" type="checkbox"/>	工事用マスタ_20xx_13東京都	#MST\BZDAT

追加(A)... 北(C)... 削除(D)... ▲ ▼

退避(B)... 復元(R)... 設定(S)... 最適化(O)...

閉じる ヘルプ(H)

マスターの編集ダイアログに指定された工事用マスターが追加されます。  
「閉じる」ボタンを押してマスターの編集を終えてください。

以上で実務マニュアルの工事用マスター導入（復元）作業は完了です。